

令和元年度 第2回

# 山梨県考古博物館協議会資料

( 次 第 )

- 1 開 会
- 2 館長あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 令和元年度考古博物館経過・予定事業について
  - (2) 考古博物館利用状況について
  - (3) 考古博物館収蔵品の適正な管理について
  - (4) 委員提言に対する対応・検討状況について
  - (5) 考古博物館運営方針及び現状と課題について
  - (6) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

令和2年3月11日(水)

山梨県立考古博物館  
風土記の丘研修センター

# 資 料 目 次

◇ 令和元年度 考古博物館経過・予定事業について	
1 展示活動	1
2 学習会・講座など	2
3 イベント	5
4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ	6
5 古代衣装貸し出し	7
6 ボランティアガイドの実施	7
7 令和2年度 第38回特別展（予定）について	8
◇ 考古博物館利用状況について	
(1) 観覧者数（常設展・特別展）	9
(2) 特別展観覧者数	10
(3) 学校関係利用状況	11
(4) 総利用者数	12
◇ 考古博物館収蔵品の適正な管理について	13
◇ 委員提言に対する対応・検討状況について	16
◇ 考古博物館運営方針及び現状と課題について	17
◇ 山梨県考古博物館協議会委員名簿	18
◇ 山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	19

## ◇ 平成31年度（令和元年度）考古博物館経過・予定事業について

### 1 展示活動

#### (1) 第37回特別展『縄文文化の頂点』

会 期：10月2日（水）～11月24日（日） 開催日数47日

会 場：山梨県立考古博物館

入館者：6,308人

概 要：縄文時代に最も人口が多かったと推定される中期の中部高地を中心に、その成立から解体までの変遷について解説しながら、縄文文化の到達点と言える資料を多数紹介しました。また、中期文化の解体後、石を用いた新たな祭祀による縄文後期の文化も取り上げ、縄文文化の頂点の一つである山梨の資料を県外の出土品と比較しながら紹介することにより、その価値をさらに広める機会となりました。

#### (2) 企画展

##### ① 春季企画展『人口拡大の時代－郷村・荘園の成立と展開－』

会 期：4月20日（土）～6月16日（日） 開催日数49日

会 場：考古博物館多目的室

入館者：5,750人

概 要：律令国家から王朝国家へと社会の仕組みが大きく変化した平安時代の中頃以降、貴族や寺院の荘園が成立し、遺跡の数も急激に増加し、中世前半にかけては有力者による郷村が成立しました。この間の社会の変化について、さまざまな考古資料からその背景や実態を紹介しました。

##### ② 夏季企画展『山梨にでっかい古墳ができたわけ－上の平遺跡発掘40周年－』

会 期：7月13日（土）～8月25日（日） 開催日数39日

会 場：考古博物館多目的室

入館者：4,944人

概 要：東日本随一の密集度を誇る上の平方形周溝墓群の在り方や特質を明らかにし、古墳時代前期の大型前方後円墳が出現する背景について、改めて考える機会として開催しました。夏休み期間中の開催であることから、会期中は小・中学生を対象にスタンプラリーイベントを開催しました。

##### ③ 冬季企画展「山梨市の出土品Ⅱ－山梨誕生－」

会 期：12月7日（土）～令和2年1月26日（日） 開催日数38日

会 場：考古博物館多目的室

入館者：1,141人

概 要：自治体に専門の施設を持たない地域の出土品を紹介する企画展で、平成30年度年度に引き続き、山梨市の平安時代から近世の遺跡を紹介しました。

- ④ 新年干支展『子（ネズミ）』  
 会 期：令和2年1月2日(木)～1月26日(日) 開催日数19日  
 会 場：考古博物館エントランスホール  
 入館者：707人  
 概 要：令和2年の干支、ネズミに関わる歴史や出土品について紹介しました。
- ⑤ 『第17回わたしたちの研究室・研究成果展示会』  
 会 期：2月8日(土)～3月8日(日) 開催日数26日  
 会 場：考古博物館多目的室  
 概 要：小・中学生の皆さんが、夏休みの自由研究や総合的な学習の時間に取り組んだ歴史・考古学に関する研究成果を紹介する企画展です。
- ⑥ 『富士山ミニ展示』  
 会 期：2月9日(土)～2月29日(土) 開催日数18日  
 会 場：考古博物館エントランスホール  
 概 要：「富士山の日」にちなんで開催しているミニ展示です。今年度は、中世以降の富士山と信仰について、考古資料から紹介しました。
- ⑦ 『風土記の丘望見展』  
 会 期：2月29日(土)～4月5日(日) 開催日数32日  
 会 場：風土記の丘研修センター・エントランスホール  
 概 要：風土記の丘公園の特色である古代の遺跡や、研修センターでの事業を紹介する企画展です。今年度は、県内各地を代表する縄文土器をパネルで紹介しながら、人気投票によりグランプリを決定します。
- ⑧ 『山梨の遺跡発掘展2020』  
 会 期：3月14日(土)～4月12日(日) 開催日数25日  
 会 場：考古博物館多目的室  
 主 催：山梨県埋蔵文化財センター  
 概 要：平成31年度(令和元年度)に県内で実施された発掘調査成果を展示します。

## 2 学習会・講座など

### (1) 考古学講座

今年度は「日本遺産『星降る中部高地の縄文世界』の魅力語る」をテーマに開催しました。黒曜石を中心としたさまざまな交易や芸術性の高い土器や土偶など、中部高地で花開いた縄文文化について、その魅力を語っていただきました。

- 第1回 6月22日(土) 「黒曜石のネットワーク」  
 講師：山梨学院大学 保坂 康夫 受講者：104人
- 第2回 7月 6日(土) 「物語を描いた土器と花開く縄文芸術」  
 講師：韮崎市教育委員会 渋谷 賢太郎 氏 受講者：83人
- 第3回 7月20日(土) 「繁栄を祈った土偶たち」  
 講師：釈迦堂遺跡博物館 一瀬 一浩 氏 受講者：80人

第4回 8月 3日(土) 「(総論) 星降る中部高地の縄文世界」  
講師：北杜市教育委員会 佐野 隆 氏 受講者：77人

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説する講座です。

第1回 12月7日(土) 「ヒスイと琥珀の考古学」 受講者：27人

第2回 2月22日(土) 「縄文時代の土面と土偶」 感染症予防のため中止

(3) 特別展記念講演会

第37回特別展『縄文文化の頂点』の開催を記念して、講演いただきました。

第1回 10月20日(日) 「DNA分析から探る縄文人」  
講師：国立科学博物館 篠田 謙一 氏 受講者：77人

第2回 11月10日(日) 「物語が込められた中部高地の土器」  
講師：山梨県埋蔵文化財センター 今福 利恵 氏 受講者：83人

第3回 11月17日(日) 「縄文土器工芸の発達を社会背景から考える」  
講師：山梨県立考古博物館 高橋 龍三郎 氏 受講者：70人

(4) 冬季企画展関連講座

冬季企画展の開催に合わせて、考古博物館の企画展示室で山梨市の遺跡の特徴や出土品について解説していただきました。

12月15日(日) 講師：山梨市教育委員会 三澤 達也 氏  
参加者：28人

(5) ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

小中学生親子を対象に、考古学を学ぶ楽しさとももの作り出すよろこびを経験できる体験学習会です。

第1回 4月21日(日) 「勾玉づくり・古代衣装着用体験」  
参加者：40人

第2回 6月16日(日) 「石膏で青銅鏡づくり・黒米お田植え体験」  
参加者：37人

第3回 7月 7日(日) 「古銭づくりにチャレンジ」  
参加者：30人

第4回 8月 4日(日) 「縄文ポシェットづくりにチャレンジ」  
(特別展連携)  
参加者：27人

第5回 8月18日(日) 「石製耳飾りづくりにチャレンジ」(特別展連携)  
参加者：28人

第6回 9月 1日(日) 「弥生時代の矢じりづくりにチャレンジ」  
参加者：28人

- 第7回 9月29日(日)・10月20日(日)  
「石包丁づくりにチャレンジ、収穫・古代衣装着用体験」  
参加者：40人
- 第8回 11月17日(日)「土偶づくりにチャレンジ」(特別展連携)  
参加者：29人
- 第9回 12月1日(日)「干支の土鈴づくりにチャレンジ」  
参加者：35人
- 第10回 1月19日(日)・2月2日(日)  
「縄文土器づくりにチャレンジ」  
参加者：58人
- 第11回 2月16日(日)「青銅鏡づくりにチャレンジ」  
参加者：18人
- 第12回 3月15日(日)「ミニミニ銅鐸づくりにチャレンジ」  
感染症予防のため中止予定

(6) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～ (風土記の丘研修センター)  
高校生以上の一般の方を対象に、原始古代のすぐれた工芸技術を体験できる講座です。

- 第1回 4月20日(土) 「トンボ玉ストラップ作り体験」  
参加者：10人
- 第2回 5月18日(土) 「縄文風網代編みバッグ作りとアングイン編体験」  
(特別展連携)  
参加者：12人
- 第3回 6月1日(土) 「縄文風陶器作り体験」(特別展連携)  
参加者：9人
- 第4回 7月20日(土) 「ミニミニ銅鐸作り体験」  
参加者：10人
- 第5回 8月24日(土) 「琥珀で勾玉作り体験」  
参加者：13人
- 第6回 9月7日(土) 「小銅鐸作り体験」  
参加者：8人
- 第7回 10月5日(土) 「縄文風陶器作り体験」(特別展連携)  
参加者：8人
- 第8回 10月27日(日) 「土器ドキクッキー作り体験」(特別展連携)  
参加者：20人
- 第9回 12月14日(土) 「染め物体験」  
参加者：10人
- 第10回 1月11日(土)・18日(土)・2月2日(日) 「縄文土器作り体験」  
参加者：16人
- 第11回 2月8日(土)・9日(日) 「青銅鏡形チョコレート作り体験」  
参加者：63人
- 第12回 3月7日(土) 「青銅器・剣形ペーパーナイフ作り体験」  
感染症予防のため中止

(7) 史跡文化財セミナー

一般の方を対象として、山梨県内の史跡を巡り、郷土の歴史や文化に対する興味・関心、理解を深めていただく講座です。

第76回 5月18日(土) 「大月の甲州街道を歩く」

参加者：24人

第77回 11月2日(土) 「甲斐風土記の丘と米倉山をめぐる」

参加者：25人

第78回 3月15日(日) 「山梨市の原始・古代を辿る」

感染症予防のため中止予定

### 3 イベント

(1) 第31回風土記の丘子どもまつり(公園管理者と共催)

火起こし体験、古代食試食、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど考古学や風土記の丘に親しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しているイベントです。

日時：5月3日(水)・4日(木) 9:00~15:00

会場：風土記の丘研修センターと周辺エリア 参加者：6,473人

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

① 6月22日(土) 『食育推進全国大会関連イベント』

参加者：30人

② 11月20日(水) 『県民の日イベント』

参加者：972人

③ 1月3日(金) 『お正月イベント』

参加者：75人

④ 2月23日(日) 『富士山の日関連イベント』

参加者：459人

⑤ 3月8日(日) 『考古博物館 de 春まつり』

感染症予防のため中止

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園管理者と共催)

① 6月8日(土)~8月12日(月・祝) 『風土記の丘で七夕飾り』

参加者：240人

② 6月30日(日) 『七夕人形作り』

参加者：21人

③ 9月14日(土) 『方形周溝墓で星を見る会』

参加者：56人

④ 10月14日(月・祝) 『秋のふれあいまつり』

台風の影響により中止

⑤ 11月23日(土・祝) 『落ち葉で焼きいも』

参加者：305人

⑥ 1月13日(月・祝) 『古代米でもちつき大会』

参加者：504人

(4) 夏休みスタンプラリー

7月20日(土)～8月25日(日)

スタンプブックを持った入館者で希望者がアクセサリー作り体験などをする夏休みの企画です。

- ① 『とんぼ玉をつくろう!』
- ② 『勾玉・大珠をつくろう!』
- ③ 『プラバン de 古墳のお宝!』
- ④ 『ミニミニ青銅鏡をつくろう!』
- ⑤ 『名探偵コフンのなぞ解き考古博』
- ⑥ 『ミニミニ☆発掘体験!』
- ⑦ 『古銭をつくろう!』

参加者合計：469人

(5) 夏休み自由研究プロジェクト

県立博物館の呼びかけによる事業への参加。

日 時：7月15日(月・祝) 13:00～16:30

会 場：アイメッセ山梨(甲府市)

参加者：72人

(6) 第17回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日 時：2月9日(土) 10:00～12:00

会 場：考古博物館エントランスホール

参加者：91人

(7) 「Jomon FES 2019～山梨縄文まつり～」

山梨の縄文を広くアピールするため、平成28年度から開催している県内7館連携の縄文王国山梨実行委員会によるイベント。

日 時：10月27日(日) 10:30～16:30

会 場：甲府駅北口よっちゃばれ広場

参加者：3,880人

(8) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)

- ① 火起こし体験

参加者：4,618人

- ② 勾玉作り

参加者：2,913人

(1月末現在)

## 4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

高校・大学生等の就職先選定に先立つ職場実習であるインターンシップ、主に中学生による職場体験を受け入れ実施。大学生の学芸員資格取得のための学芸員実習は2名を受け入れ、8月1日～8月11日に実施。

学芸員実習	8月1日～11日	東海大学	1人
		筑波大学	1人
職場体験	7月3日・4日	山梨北中2年生	2人
	7月10日～12日	双葉中2年生	2人
	7月25日・26日	甲府南西中2年生	1人
		甲府北東中2年生	1人
	7月30日・31日	上条中2年生	2人
	7月31日～8月2日	甲府南中3年生	2人



8月1日・2日	甲陵中2年生	2人
8月6日	甲府南東2年生	5人
8月7日～9日	城南中2年生	1人
	甲府南中2年	3人
8月20日～22日	甲府南中2年生	3人
8月20日・21日	山梨南中2年生	4人
11月13日・14日	あけぼの支援学校高等部1年生	2人
インターンシップ 8月29日・30日	都留文科大学	2人

## 5 古代衣装貸し出し

弥生～古墳時代の貫頭衣、古墳時代の豪族の衣服である胡服や巫女の服、古墳～奈良時代の女官や官吏の服を貸し出し、学校教育やイベントでの活用を進めています。

4月 4日 (木) ～ 4月 19日 (金)	富士河口湖町立船津小学校
4月 24日 (水) ～ 5月 8日 (水)	埼玉県生活科学センター
5月 21日 (火) ～ 6月 19日 (水)	北杜市立長坂小学校
6月 4日 (火) ～ 6月 14日 (金)	早川町立早川南小学校
6月 4日 (火) ～ 6月 18日 (火)	県立富士見支援学校
6月 16日 (日) ～ 7月 9日 (火)	あけぼの支援学校
6月 19日 (水) ～ 6月 24日 (月)	県立城西高等学校
8月 2日 (金) ～ 8月 14日 (水)	上野原市教育委員会
9月 18日 (水) ～ 10月 5日 (土)	身延町立身延中学校
9月 26日 (木) ～ 10月 1日 (火)	NHK (歴史秘話ヒストリア)
10月 1日 (火) ～ 10月 7日 (月)	茅ヶ崎市小出地区 コミュニティーセンター
11月 3日 (日) ～ 12月 1日 (日)	北杜市立長坂小学校

合計：12件

## 6 ボランティアガイドの実施

考古博物館協力員に研修を受けていただき、ボランティアガイドとして来館者の展示解説を実施。総勢16名で活動中。

4月	3日間 (延べ 6名 ; 開館日数 26日)	
5月	12日間 (延べ 16名 ; 開館日数 27日)	
6月	7日間 (延べ 9名 ; 開館日数 24日)	
7月	10日間 (延べ 13名 ; 開館日数 26日)	
8月	8日間 (延べ 9名 ; 開館日数 28日)	
9月	6日間 (延べ 10名 ; 開館日数 20日)	
10月	3日間 (延べ 5名 ; 開館日数 25日)	
11月	11日間 (延べ 5名 ; 開館日数 22日)	(11月末現在)

## 7 令和2年度 第38回特別展（予定）について

テーマ：『甲府城のすべて』（仮称）

会期：令和2年9月30日（水）～11月23日（月・祝） 48日間

会場：山梨県立考古博物館

概要：甲府城跡の国史跡指定を記念して、各地の城郭出土品と比較しながら、その文化財的価値について紹介します。

東日本で初期段階の織豊城郭である甲府城跡の最大の特徴は、築城期の野面積み石垣が今なお贅沢に残っていることであり、もう一つは、金箔鯨瓦をはじめ、装飾性の高い鬼瓦、板瓦など、瓦を中心とした築城期の特徴を示す豊富な資料が発掘されたことにあります。

展示では、各地の発掘調査の成果と比較しながら、戦国時代から江戸時代にかけての激動期に築かれた甲府城の歴史的意義について、考古資料から改めて考える機会とします。



# 特別展観覧者数

令和2年2月末日現在 (単位:人)

年度	開館 日数	個人			団体			割引制度(小・高)	前売券	旅行社 クーポン	年間バス ポート	高齢者 身障者	土曜日 (小・中・高)	教育課程	招待者	計	1日 平均	回	内 容
		大学・一般	小・中・高	723	大学・一般	小・中・高	215												
58	46	2,807	723	1,405	215								1,800	1,445	8,395	183	1	土偶	
59	35	1,840	308	926	26								1,194	945	5,239	150	2	縄文時代の酒道具	
60	37	1,362	161	832	36								785	839	4,015	109	3	山梨の中世陶磁	
61	56	3,232	520	1,065	8								2,585	2,604	10,014	179	4	古代甲斐国と織内王権	
62	29	1,461	274	317	28								571	866	3,517	121	5	古代官道と甲斐の文化	
63	28	1,924	242	359	24								1,008	1,566	5,123	183	6	古代の装身具	
1	31	1,098	264	616	316								2,522	809	5,625	181	7	一粒の粒展	
2	36	1,503	242	448	81								3,549	774	6,597	183	8	古墳時代が聞こえる	
3	36	1,100	199	350	3								3,318	819	5,789	161	9	縄文土器その心象世界	
4	36	2,263	344	414	115								1,903	1,135	6,174	172	10	天下人の時代	
5	35	840	101	231									2,446	973	4,591	131	11	山梨の経塚	
6	36	2,414	534	96									1,947	1,295	6,286	175	12	古墳時代の甲冑	
7	44	55,623	9,554	1,943	576						10,045	3,765	4,273	4,303	90,082	2,047	13	黄金の新シカン発掘展	
8	32	7,999	1,432	259	219						982	608	2,140	420	14,059	439	-	ネアンデルタール人の復活展	
9	19	1,268	178	92							583	125		2,178	4,424	233	14	新発見考古速報展	
10	33	1,683	167	189							587	62	737	1,770	5,195	157	15	韓国・忠清北道の古代文化展	
11	39	1,985	394	166	457						1,711	208	1,948	2,633	13,165	299	16	遙かなるエジプト展	
12	39	2,842	383	179	173						611	87	1,634	1,478	6,812	175	17	縄文の旅	
13	44	1,555	309	205	205						1,548	94	1,126	2,882	9,227	237	18	中国四川省古代文物展	
14	38	1,884	449	274	89						721	92	1,913	1,035	6,035	137	19	黄金の輝き	
15	38	1,965	133	126							737	142	1,423	1,375	6,373	168	20	技と美の誕生	
16	46	1,052	116	285	14						1,257	145	2,227	2,274	8,127	214	21	大トルコ展	
17	58	942	167	206	234						615	81	1,745	1,156	5,064	110	22	縄文の女神展	
18	51	993	191	115	42						828	109	1,805	863	5,154	89	23	山の民と海の民	
19	52	12,958	2,908	498	355						802	83	1,546	812	4,613	90	24	甲府盆地から見たヤマト	
20	55	647	428	164	592						9,468	2,507	2,035	729	51,241	985	25	世界遺産ナスカ展	
21	51	605	420	39	351						126	874	1,628	905	6,549	119	26	埋められた財宝	
22	51	453	236	40	390						116	667	748	1,128	5,068	99	27	卑弥呼時代の黄金世界	
23	50	810	338	92	1,124						112	652	44	961	4,329	85	28	発掘された女性の系譜	
24	50	12,437	4,782	193	999						111	899	1,069	1,154	6,773	135	29	縄文土器名宝展	
25	55	563	1,504	104	674						605	18,095	1,474	2,404	64,865	1,297	30	インカ帝国展	
26	44	672	1,172	23							85	708	973	1,103	6,545	119	31	食いしんぼうの縄文人	
27	45	927	1,039	83							90	586	886	1,225	5,017	114	32	掘り起こされた音の形	
28	50	1,063	1,542								102	805	923	1,110	5,945	132	33	縄文の美	
29	46	929	1,182								81	964	943	973	6,044	121	34	よみがえる武士の魂	
30	51	4,948	4,666	35							76	1,032	949	1,177	6,067	132	35	ひつぎのヒミツ	
31	46	1,079	1,434	54							319	8,507	899	1,718	25,981	509	36	古代アンデス文明展	
											72	931	933	942	6,308	137	37	縄文文化の頂点	

# 学校関係利用状況

令和2年2月末日現在 (単位：校、人)

年度	県内						県外						合計					
	小学校		中学校		高校		小学校		中学校		高校		計					
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数				
9	53	3,437	10	474	5	214	68	4,125	67	4,524	12	1,118	1	56	80	5,698	148	9,823
10	61	3,723	9	397	1	46	71	4,166	46	3,213	12	1,316	4	855	62	5,384	133	9,550
11	60	3,723	11	577	4	109	75	4,409	45	3,109	9	907	1	120	55	4,136	130	8,545
12	57	2,987	15	659	9	273	81	3,919	38	2,387	5	465			43	2,852	124	6,771
13	58	3,059	19	285	3	339	80	3,683	26	1,681	7	540			33	2,221	113	5,904
14	52	2,781	15	457	5	159	72	3,397	33	1,934	7	628			40	2,562	112	5,959
15	68	3,143	8	234	3	88	79	3,465	31	1,678	8	635	1	81	40	2,394	119	5,859
16	56	2,980	13	323	4	216	73	3,519	25	1,551	2	140	1	29	28	1,720	101	5,239
17	51	2,797	15	275	1	21	67	3,093	32	2,325	5	345	2	69	39	2,739	106	5,832
18	54	2,976	9	162	1	7	64	3,145	37	2,818	10	595			47	3,413	111	6,558
19	80	3,704	22	937	6	106	108	4,747	44	3,149	5	474			49	3,623	157	8,370
20	66	3,341	12	402	1	176	79	3,919	46	3,335	12	898			58	4,233	137	8,152
21	65	2,950	16	539	5	64	86	3,553	42	2,947	11	919	1	45	54	3,911	140	7,464
22	58	3,075	12	568	6	155	76	3,798	48	3,270	12	1,073			60	4,343	136	8,141
23	63	3,315	13	467	6	226	82	4,008	64	4,694	8	922			72	5,616	154	9,624
24	60	2,985	12	532	6	182	78	3,699	58	4,029	12	1,008	1	72	71	5,109	149	8,808
25	57	2,705	19	545	1	36	77	3,286	56	3,579	11	901			67	4,480	144	7,766
26	65	2,989	17	747	4	194	86	3,930	53	3,654	9	840			62	4,494	148	8,424
27	62	3,026	14	361	5	266	81	3,653	58	4,231	11	804	1	29	70	5,064	151	8,717
28	63	2,841	16	767	2	96	81	3,704	48	3,089	12	815	1	5	61	3,909	142	7,613
29	64	2,574	14	457	2	96	80	3,127	48	3,297	8	697			56	3,994	136	7,121
30	61	2,425	12	469	4	238	77	3,132	51	3,606	5	262			56	3,868	133	7,000
31	79	2,836	23	488	2	68	104	3,392	50	3,594	5	404			55	3,998	159	7,390
計	1,839	99,598	379	14,929	102	4,454	2,320	118,981	1,365	96,899	261	22,773	51	3,486	1,677	123,158	3,997	242,139

(参考) 平成30年2月末現在

29	64	2,574	14	457	2	96	80	3,127	48	3,297	8	697			56	3,994	136	7,121
----	----	-------	----	-----	---	----	----	-------	----	-------	---	-----	--	--	----	-------	-----	-------

# 考古博物館 総利用者数

令和2年2月末日現在 (単位:人)

項目	28年度	29年度	30年度	R1年度	増減		事業内容
					対H29年度 2月末日比	H27~29平均 2月末日比	
常設展 観覧者数	22,371	24,223	39,047	22,678	△ 1.8%	0.9%	【外国人来館者数(内数)】 H30(7~3月):94、R1:243
特別展 観覧者数	6,044	6,067	25,981	6,308	4.0%	4.8%	H28:9.28~11.23 H29:10.4~11.23 H30:5.19~7.16 R1:10.2~11.24
企画展 観覧者数	13,047	15,464	19,414	13,516	△ 3.8%	8.1%	春季・夏季・冬季企画展、わたしたちの研究室、 富士山の日ミニ展示、山梨の遺跡展等
主催事業 参加者数	23,591	18,386	19,397	17,831	0.0%	△ 8.1%	
講座等	572	1,061	828	680			史跡文化財セミナー、考古学講座、館長講座、縄文問答等
ものづくり教室	572	798	810	594			原始古代の技に学ぶ、チャレンジ博物館
体験学習	8,403	8,742	7,432	7,822			勾玉づくり、火起こし、その他(土鈴、編布、青銅鏡等)
イベント等	12,557	6,690	9,179	6,823			夏休み自由研究プロジェクト(アイメッセ)、夏休みスタンプラリー、縄文王国関連イベント、県民の日イベント、古代のもちつき、わたしたちの研究室発表会、考古博物館 春まつり等
風土記の丘こどもまつり	1,487	1,095	1,148	1,942			(GW期間中2日間開催)
研修センター 利用者数	2,210	1,763	2,015	1,467	※ 26.7%	※ 18.3%	
風土記の丘望見展観覧者数	737	659	1,015				
施設利用	1,473	1,104	1,000	1,467			講堂、研修室 【別掲】テニスコート利用者数 H28:2,967、H29:2,455、H30:2,934、R1:2,573
総利用者数	67,263	65,903	105,854	61,800	※ 0.3%	※ 0.9%	※別掲としたテニスコート利用者数を含む増減

◎H30は周年事業年のため、比較の対象から除く

## 考古博物館収蔵品の適正な管理について

### ■紛失土器の収蔵について

○紛失した考古博物館所蔵の4点の縄文土器について、当該土器の所有者との協議が整い、1月22日(水)までに4点が考古博物館に復した。

#### ○収蔵した土器の概要

1. 北杜市原町農業高校前遺跡5号住居跡出土の縄文土器(平成13年度出土)
  - ・縄文時代中期(約5千年前)の小型の深鉢形土器(高さ12.8cm)
  - ・第三者と売買契約、令和2年1月22日収蔵
2. 北杜市海道前C遺跡8号住居跡出土の縄文土器(平成7年度出土)
  - ・縄文時代中期(約5千年前)の小型の深鉢形土器(高さ22.8cm)
  - ・所有権放棄を受け、令和元年6月20日収蔵
3. 笛吹市北堀遺跡44号住居址出土の縄文土器(昭和55年度出土)
  - ・縄文時代中期(約5千年前)の小型の深鉢形土器(高さ33.5cm)
  - ・第三者と売買契約、令和2年1月22日収蔵
4. 北杜市原町農業高校前遺跡22号住居跡出土の縄文土器(平成13年度出土)
  - ・縄文時代中期(約5千年前)の小型の深鉢形土器(高さ16.5)cm
  - ・所有権放棄を受け、令和元年6月20日収蔵

#### ○収蔵後の状況

・4点のうち2点は、現在、考古博物館で展示中。残り2点は今後、企画展示や埋蔵文化財センターの出前支援事業等で活用していく。

### ■収蔵品の管理・検査方法

#### ○管理方法(従前)

- ・基本的に、調査報告書掲載の出土品は考古博物館収蔵庫で保管しており、このうち、指定文化財等、歴史上・芸術上価値の高いものについては常設展示するほか、考古博物館内の特別収蔵庫で保管、大型の指定文化財は収蔵庫内保管棚の前に柵を設置、施錠し、保管している。
- ・収蔵庫は既に満杯の状態であるため、土器の価値等を考慮したうえで、峡北収蔵施設で保管している土器もある。

### ■再発防止策の実施

○発生の原因及び学術文化財課で実施した全国調査を踏まえ、次のとおり対応している。

- ・鍵の使用簿の作成・設置
- ・収蔵品管理責任者の設置
- ・出土品資料持ち出し簿の作成・設置
- ・収蔵庫への立ち入り制限(時間外の入室禁止)
- ・定期的な収蔵品の確認(完形品を中心に台帳との照合・確認)
- ・抽出検査の実施(月1回、出土品台帳、調査報告書記載の収蔵品の中から無作為に30点程度を抽出した現品確認)
- ・収蔵品の写真及び実測図の保管棚への明示
- ・収蔵庫における保管場所の見直し、保管棚への柵の設置と施錠(対応中)

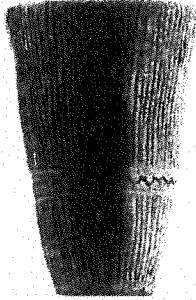
○今後対応予定

- ・防犯カメラの設置(令和2年度) など

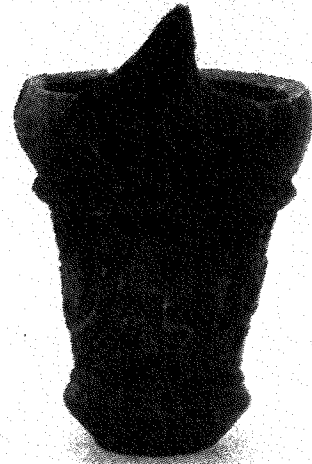


1. 原町農業高校前遺跡5号住居跡出土の縄文土器

(展示中)



2. 海道前C遺跡8号住居跡出土の縄文土器

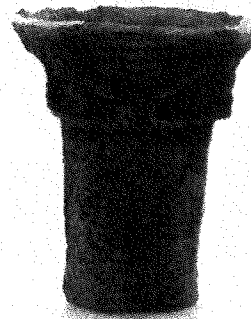


3. 北堀遺跡44号住居址出土の縄文土器

(展示中)



4. 原町農業高校前遺跡22号住居跡出土の縄文土器



■委員提言に対する対応・検討状況について

No.	委員提言概要(R1.7.26)	事務局回答(R1.7.26)/対応・検討状況
1	今年度も館長講座は開催されるのか。高橋館長が話をする機会を増やしてほしい。	今年度については、12月7日に開催(2月22日は中止)。令和2年度については6月、9月、12月、3月に開催する予定。
2	「縄文文化の頂点」について、県の観光部等と連携しPRを希望。また、企画展について、大阪の世界遺産と関連した展示を検討してほしい。	来年度の組織改編により、知事部局へ移管され、観光振興のためのさらなる活用が求められることから、これに対応していきたい。常設展示の古墳時代コーナーの既存パネルの一部をリニューアルする予定。
3	イベント名に言語的な問題がある。「考古博物館de春まつり」についてはフランス語では意味が通じない。教育機関なので誤解を与えないような表現を望む。	考古博物館により親しみをもってもらえるよう、「春まつり」を平成28年度から「考古博物館de春まつり」としている。イベント名については、さまざまな情報や動向を考慮しながら検討していきたい。
4	イベントや展示の数が多く飽和状態にあり、新たな展示・公開の視点を創出するためには研究に力を入れる必要がある。そのため、考古博物館を研究機関へ移行する検討をしてほしい。	組織的な話になるので各関係機関・部所との協議が必要であり、長期的な課題と考えている。
5	山梨県には考古系を取り扱う大学等がない。近年、(地公体の)募集状況を見ていると職員の確保が困難となっているため、安定的に人材を補充できる仕組みづくりが必要である。	組織的な話になるので各関係機関・部所との協議が必要であり、長期的な課題と考えている。
6	昨年、考古博物館の土器がフランスで展示されたことは素晴らしいと考える。オリンピック等の機会を利用し、考古博物館のPRに努めてもらいたい。	平成29年度より日本文化の魅力を発信する事業「beyond2020プログラム」に考古博物館の展示会やイベントを申請し認証されており、次年度もさまざまな機会を通じ「縄文」を中心にPRに取り組んでいく。
7	防災新館で行われた埋文センターのシンポジウムが興味深かった。縄文というキーワードで様々な連携を探るべき。縄文に興味がある人の裾野を広げることが必要。	甲府駅北口での「Jomon FES」は定着しつつあり、来年度も実施する予定。日本遺産の取り組みでは、構成文化財の中から当館所蔵品を含む土偶33点を厳選し、ご朱印帳を持って各館を巡る「33番土偶札所巡り」などの事業を進めている。
8	学校関係については、バス等の予算的な問題で来館が難しいケースがある。今後、目標とする利用者数はどのように考えているのか。	平成28年度以降、学校関係の利用者数は減少しているが、今年度は平成29年度、30年度より増加している。少子化が進む中、県内、県外とも、引き続き利用促進をPRし、誘致活動に努めていきたい。
9	考古博物館がFacebookで多くの情報を発信している。SNSを利用し、シェアしやすい情報が増やしてほしい。	引き続き適切で効果的な情報発信に取り組んでいく。

# 考古博物館の各事業や「多様なニーズへの対応方針」の現状と課題について

検討項目	実施状況	質問、課題やこうした方がより良いなどの意見・提案
<ul style="list-style-type: none"> <li>○館運営方針</li> <li>○資料収集方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山梨県立考古博物館設置及び管理条例第1条「古代文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与するため、考古博物館を設置する」</li> <li>・山梨県の長い歴史を物語る各種の考古資料について、その収集、保管、展示、公開、調査研究並びに普及・啓蒙などの事業を行う。</li> <li>・埋蔵文化財センターの発掘調査により出土した考古資料を収蔵</li> <li>・山梨県外の施設等が所蔵する山梨県出土品など、普段見ることができない考古資料についてはレプリカを作製し、展示。</li> </ul>	
○館実施事業コンセプトについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考古学の成果から山梨の歴史を学ぶ場として、展示、講座、学習会、イベントなどを実施し、原始古代の技術に触れながら、親しまれる博物館を目指す。</li> </ul>	
○館実施事業について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「山梨県考古博物館協議会資料」1～8ページのとおり</li> </ul>	
○「多様なニーズへの対応方針」の現状と課題について		
来館者の利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>①多言語対応                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット音声ガイド(日・英)</li> <li>・スマホ音声ガイド(日・英)</li> <li>・パンフレット(英)</li> </ul> </li> <li>②開館時間の延長</li> <li>③バリアフリー化の促進</li> </ul>	
博学連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・来館時の対応(福祉車両の進入・駐車)</li> <li>・スロープ設置、車椅子での観覧、トイレ</li> <li>・入館料の免除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考古博物館と風土記の丘公園内にある史跡の見学と、風土記の丘研修センターを活用した体験学習</li> <li>・学校や市教委等教育機関への施設利用の案内・広報を行うことによる連携強化</li> <li>・総合教育センターによる夏休み期間中の教員研修や秋に実施している新採用教員の研修を通じて、当館の利用促進をPR</li> </ul>
館の魅力発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑤ユニークな企画・イベント促進</li> <li>⑥先端技術を活用した新たな文化財や美術品等の魅力発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ番組撮影、映画・ドラマロケなど</li> <li>・復元竪穴住居での「縄文茶会」など</li> <li>・なし</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑦関係機関との連携による新たなまちづくりや観光に関する取組の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内7館連携による「縄文王国山梨実行委員会」による事業の取組(「Jomon FES」、スタンブラーなど、文化庁の補助事業により実施)</li> <li>・日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」各事業での取組</li> <li>・全国食育推進大会の本県開催にあたり、県民生活部と連携し、「黒米試食イベント」を開催</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>⑧その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSによる情報発信</li> </ul>

# 山梨県考古博物館協議会委員名簿

(任期 平成三十年十月二十三日～令和二年十月二十二日)

区分	役職等	氏名	出身分野 (勤務先等)
委嘱	(株) 富士レークホテル取締役	井出薫子	社会教育関係
委嘱	山梨県旅館ホテル生活衛生同業組合顧問	笹本森雄	社会教育関係
委嘱	(株) タンガワ代表取締役会長	丹沢良治	社会教育関係
委嘱	NHK甲府放送局局長	辻村和人	社会教育関係
委嘱	甲府市男女共同参画 推進委員会委員	中村京子	社会教育関係
委嘱	山梨県市町村教育委員会 連合会副会長	保坂一仁	社会教育関係 (甲州市教育委員会教育長)
委嘱	山梨県PTA協議会副会長	中島智子	家庭教育関係
委嘱	山梨県考古学協会会長	末木 健	学識経験者
委嘱	山梨県立考古博物館協力会会長	長澤宏昌	学識経験者
委嘱	国立大学法人東京大学准教授	堀内秀樹	学識経験者
委嘱	公立大学法人山梨県立大学職員	一宮英生	公募
委嘱	甲府市国民健康保険 運営協議会委員	渡邊富孝	公募
任命	山梨県公立小中学校校長会	桐原ひかる	学校教育関係 (笛吹市立石和東小学校校長)
任命	山梨県高等学校校長協会	棚橋雅一	学校教育関係 (県立ひばりが丘高等学校校長)

(令和二年二月現在)  
出身分野別五十音順

## 山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

### (趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

### (附属機関の設置及び担当事務)

#### 第2条

2 教育委員会の附属機関として、次に掲げる機関を設置する。

(略)

山梨県立美術館協議会

山梨県考古博物館協議会

山梨県地方産業教育審議会

山梨県文学館協議会

3 第2項の規定により設置される附属機関の担任する事務は、別表第1の担任事務欄の掲げるとおりとする。

### (組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第1、別表第2及び第3の委員要件欄に掲げる者のうちから、知事(教育委員会の附属機関にあつては、教育委員会。以下同じ。)が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

### (会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担任事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

### 別表第1(第2条、第4条関係)

#### 2 教育委員会の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担任事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

## 山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

### 博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。